

Yokohama Junky

adult only

ソロハンターの生態 WORLD 10





前回までのあらすじ

古龍を狩った女ハンターは新種の薬物を調査する、自らの体に投与し陶酔した意識の中、彼女は襲撃を受ける

薬物の快楽に支配されながらも抵抗を試みる女ハンターだったが、絞め落とされ襲撃者の手に落ちてしまう

おっ
おっ

お前が地味な奴から古龍の薬物を引き受けた事は知っている

ギルド側の首謀者は誰だ？
元老院内の人間か？
それともギルドナイトか？

ギルドにアツク地獄へ入る事は出来ぬが、それこそがギルドナイトの使命だ

ハンターという職は
ここまで凄惨なものか

襲撃者の目的は、
人殺しをした場所が
どこか、たいてい人々を
導く人々を捕まえて
拷問する事だ



襲撃者の目的は、古龍を使ったギルドと地竜兵団の取引を阻止する事だった



快感を覚えてやる事くらいなら
拷問も無い、麻薬など使わなくても
私がいくらでも覚えてやるぞ

彼女が自ら首を吊るし死を
選んでしまったのは
どうしてか、それは
ハンターという職業の宿命だ

襲撃者の女は元ギルドナイトの古龍狩り女ハンターに目を付け、彼女を拷問し情報を引き出そうとしていたのだった



上げ続ければ確実に
決壊するぞ

肉体を思い通りに操る悪魔のような器具を使った拷問は凄惨を極めた、苦痛と快楽に苛まれ憔悴していく女ハンター

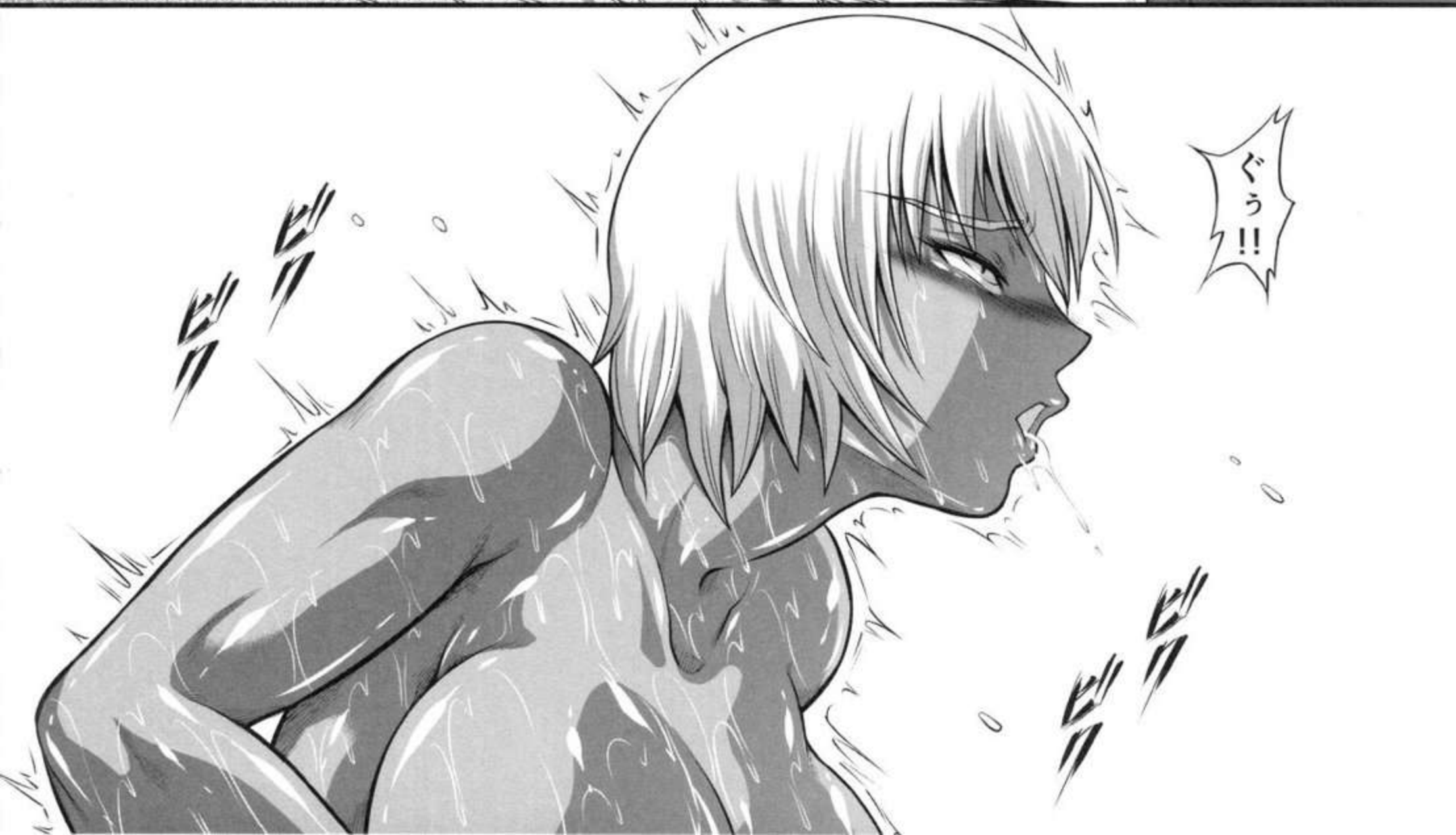
絶頂を繰り返し、糞尿をまき散らし、フタナリの襲撃者に犯されながら少しずつ壊されていく女ハンター



限界を超えた女ハンターへの責め苦はとうとう彼女を屈服させることに成功した



だが、彼女は襲撃者の望むような役割を担ってはいなかった
襲撃者は快楽に屈服した女ハンターの肉体を楽しみながら、その無様な雌犬の扱いを思案する





これは何度目の射精だ？

お…っ

う…お…

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ



この女の肉体は異様だ
女は無数に犯してきたが
この女のマンコは他の女とは
比較にならないほど私のヘニスに
悦びを与えてくる

どれだけ犯しても
まるで情欲が治まらない

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ

ッ



そしてこの乳汁だ
これほど上質な媚薬が
犯すだけでいくらかでも
湧いて出てくる

……どうする？
……この女の扱いは
どうするべきだ？



……だが
肉玩具としてのこの女の体は
……あまりにも魅力的だ

いっその事
性処理専用の女として
改造しきってしまうか？

それをしたら
二度と戦闘など出来ない
本物の肉便器になってしまうが……



これほど鍛えられた肉体なら
手懐けて獵犬として使うべきだ



関わっていない
私はハンターとしての仕事を
全うしたただだ



もう一度聞く
お前は地竜兵団とギルドの取引に
何も関わっていないんだな



この状態で
嘘をつくことなど
不可能だ



完全に墮ちている目だ
もうこの女の脳内は全て
肉欲に支配されている



確かに私はギルドナイトだった……
だが……あっ♡……もう既に♡……
追放された身だ……あっ♡あっ♡



この女にギルドとの繋がり
無いのであれば利用用途は
限定的だ
この筋肉は非常に
惜しいが

お前がギルドナイトに捨てられたのなら
私が拾ってやろう



決めたぞ
お前は私の肉奴隷として
飼ってやる

お前はこの先の人生
私を悦ばせる為だけに
生きるんだ



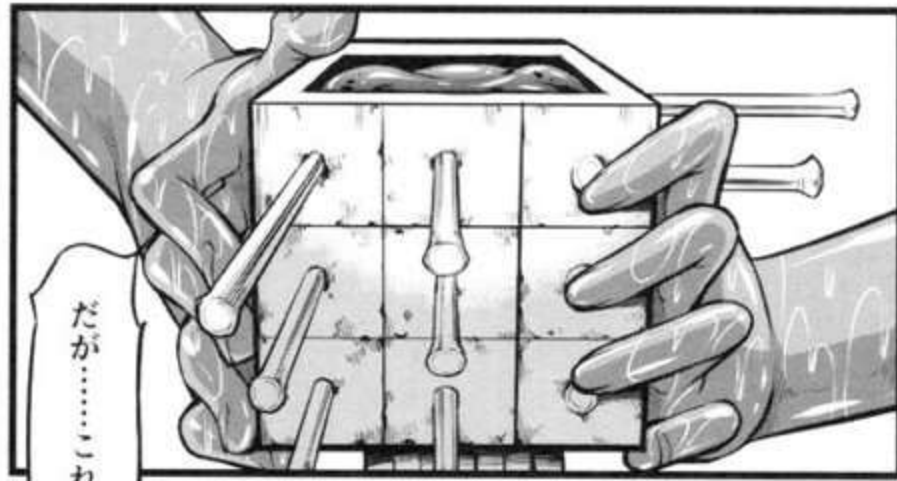
嬉しいだろう？
フフフ
聞くまでも無いが
膣の締め付けが
凄まじいぞ

お前はもう何も
考えなくて良い

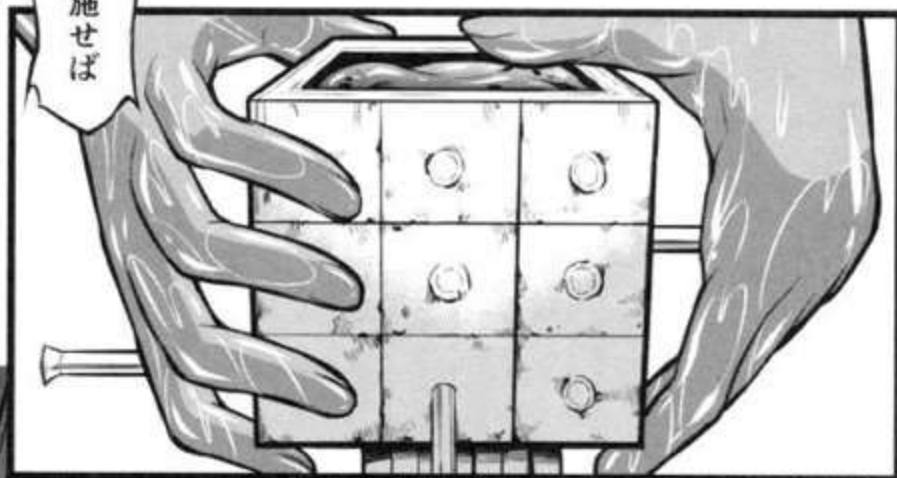
私の与える快楽だけが
お前の全てになる

私が催したときに
犯されるだけの肉の玩具だ





だが……これを施せば



今はあくまでもお前の肉体をこの装置でコントロールしているにすぎない



分かるか？
皮膚がまるで性器のように
敏感になっているのが

お前の「脳」を改造して
感覚を過敏にしているんだ



改造された脳は二度と
元に戻らない
例えこの装置を外しても
死ぬまでそのまま

そしてこのまま快感を
与え続ける事で
その過敏になった感覚は
性の悦びと結びつく



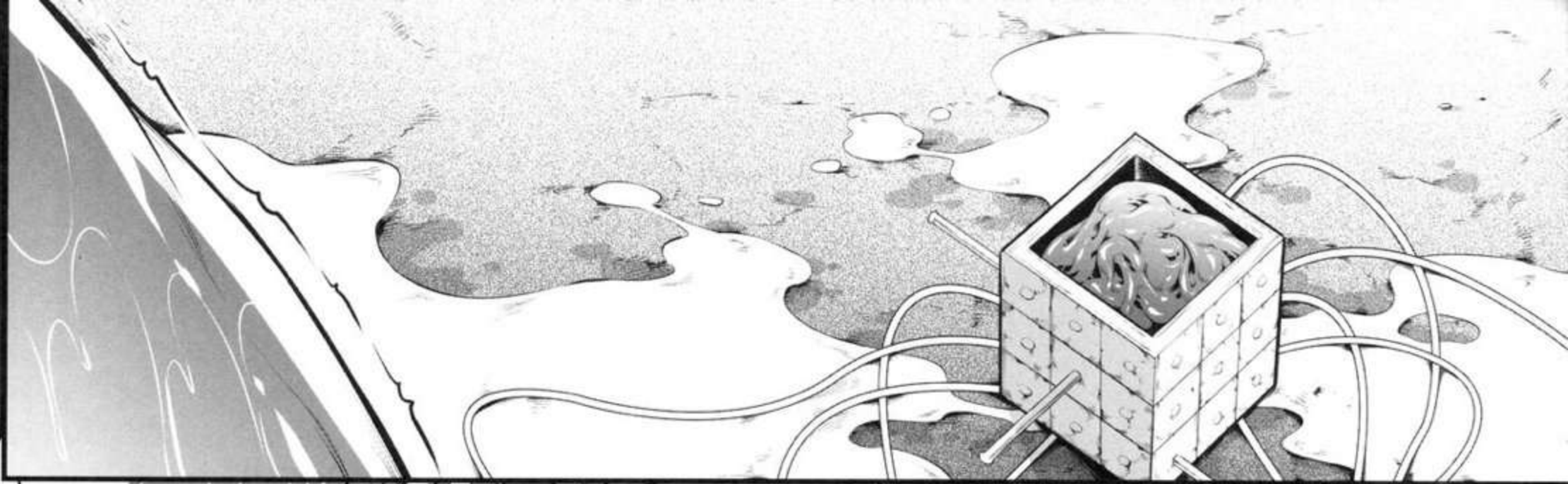
こうしてお前の全身を
くまなく開発していけば

触れられるだけで
情欲が押さえられなくなる
万年発情中の牝豚が
出来上がるという寸法さ



全身が常に性交中の
クリトリスのような状態だ
肌を撫でられるだけで
イケるようになるぞ



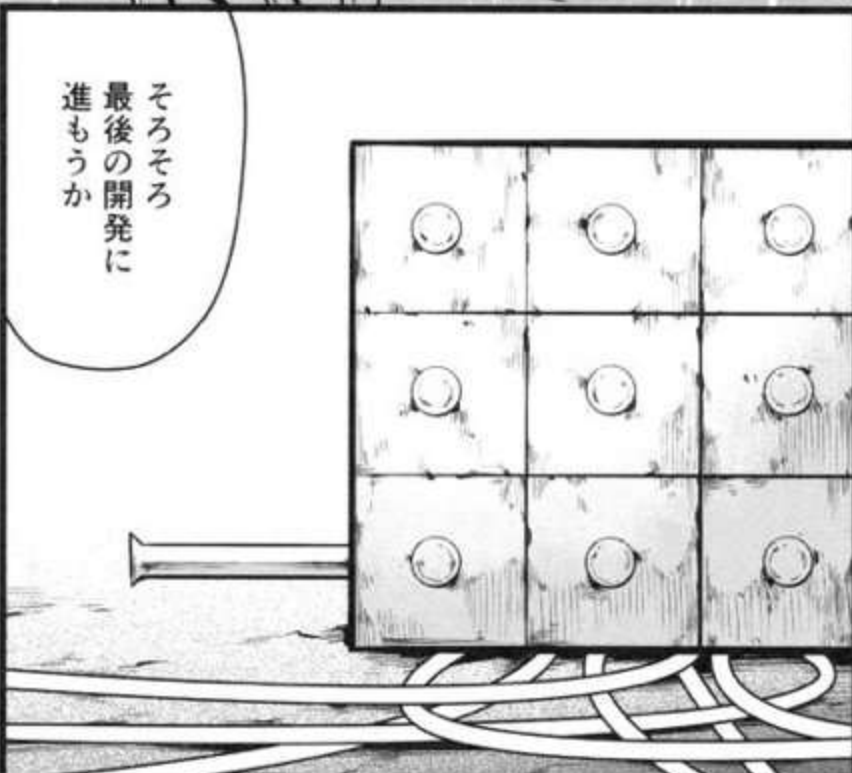


だいぶ定着してきたな
仕上がるまでもう少しか

フヒッ♡

フヒッ♡

フヒッ♡



そろそろ
最後の開発に
進もうか



どうだ？
体の変化を感じるか？
まるで天国に
居るようだろうか？

足の裏の開発さ



足の裏を性感帯にしてしまったら
もうまともな日常生活を送ることは
不可能になる

歩くだけで絶頂する肉体だ
お前の精神力をもってしても
肉便器以外の生きる道は
選べなくなるだろう





足の裏の神経は
全身に影響を与える
「ツボ」があるのさ
それら全てを性の悦びを
感じる器官に改造する



本来この肉体改造には
大量の薬物が必要なのだがな
お前の乳汁なら薬など使うより
遙かに効果が高い
本当に万能な肉体だよ
これからの性生活が
今から楽しみだ





定着したようだな
これでお前はまともな
人間ではなくなったぞ

一生歩行すらままならない
快楽漬けの肉便器だ



一度足裏の真の快感を
味わっておくか？



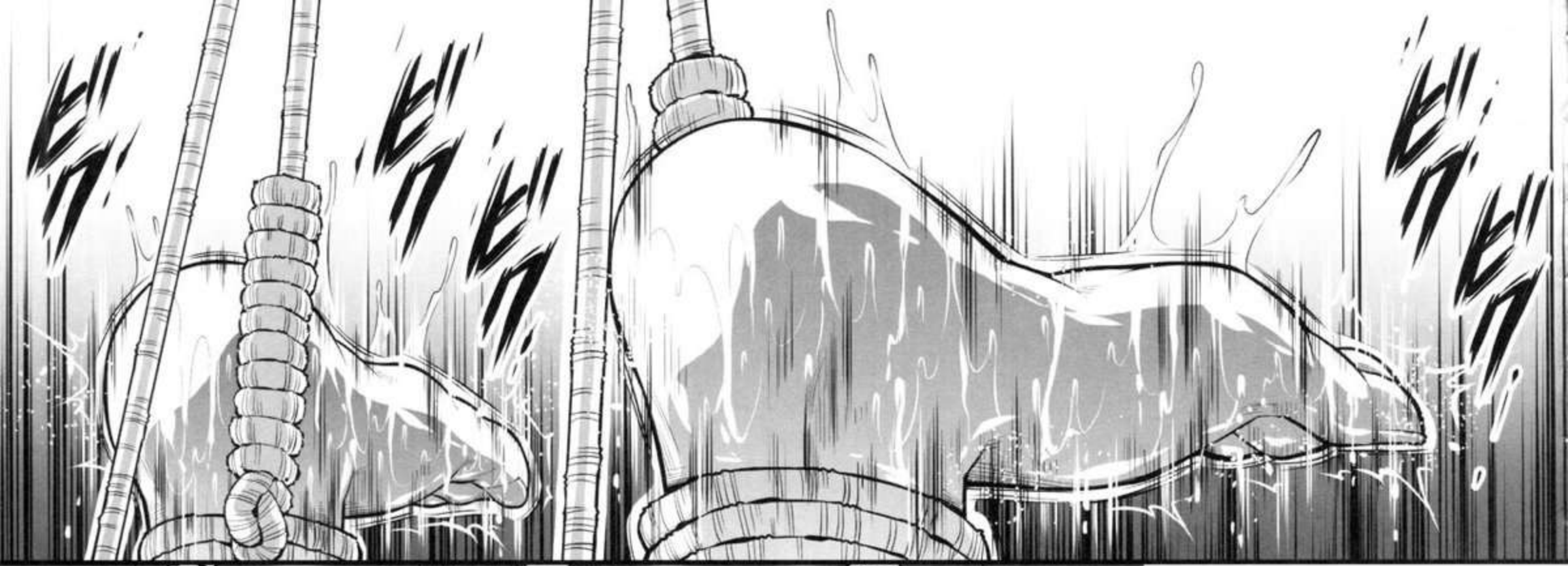




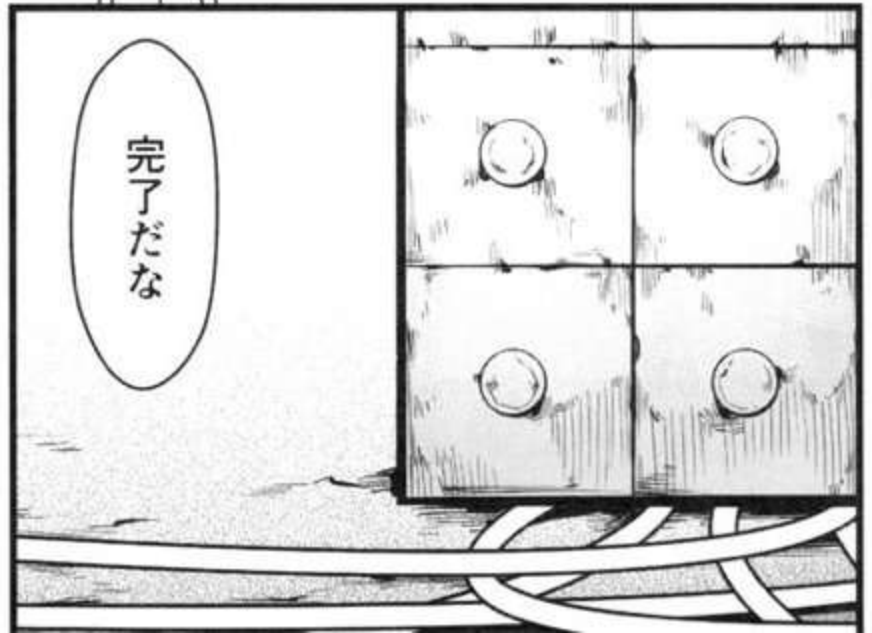
山道は気をつけた方がいいぞ
硬い物でも踏んで足裏に強い
刺激を受ければ即座にこうなる

狩りに赴くのも止めた方がいいな
片足で体重を支えようものなら
イキ狂ってしまうかもしれないからな





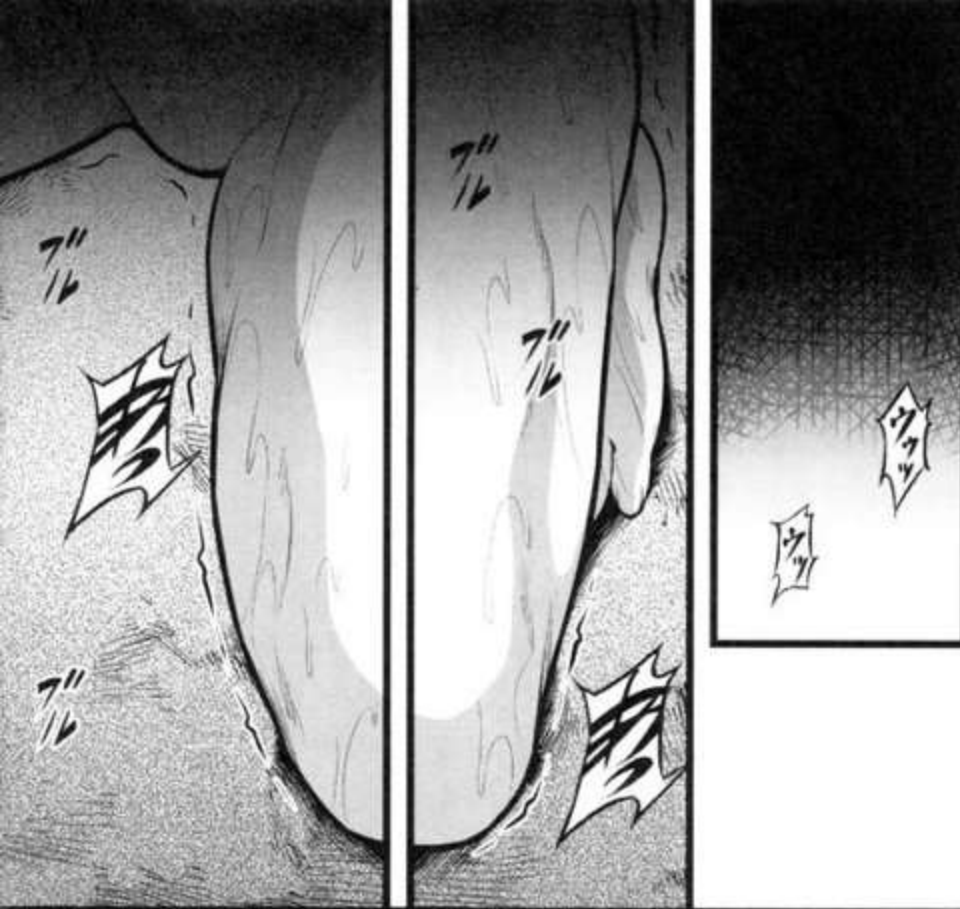
ここまで施せたのは初めてだ
超人的な精神力を
持っていなければ死ぬからな



完了だな







パピメル愚連隊に
入りなさい

ぐれん……何？

んあ？
もうご飯の時間ー？

真面目な話してるん
だから寝てなさいよ



ぐうっ!!

うっ!!



立ち上がる事も
難しいか？

それが生まれ変わった
お前の肉体だ

完璧な仕上がりだよ
副作用が少し心配だがな

脳への改造の影響で苦痛すら
快感へ変換されてしまう状態だ

自分の体を切り刻んだり
するんじゃないぞ

今お前が感じている
恒久的な快楽
それはお前が一生
味わっていく快楽だ

どうだ素晴らしいだろう？
是非とも感想を聞かせてくれ

ずっと絶頂する寸前のような
快感が続いていて……
体を動かすとイッてしまいそうで……

心の中がずっと
幸福で満たされているんだ
こんな幸福感は初めてだ……
……いい♡……しあわせ♡

ふふふ良い子だ
壊れるまで
可愛がってやるぞ



随分とギルドナイトに
詳しいようだが
少しばかり不勉強だったな

我々は奥歯を削り そこに毒を仕込む
耐性の無い人間なら暫くは無効化できる

お前は私に二度口づけをした
それがお前のミスだ

一度目の口づけの時
お前は私の口内を陵辱し
私に己の唾液を飲ませ
最後に私の唾液を嘔り上げ

飲んだ



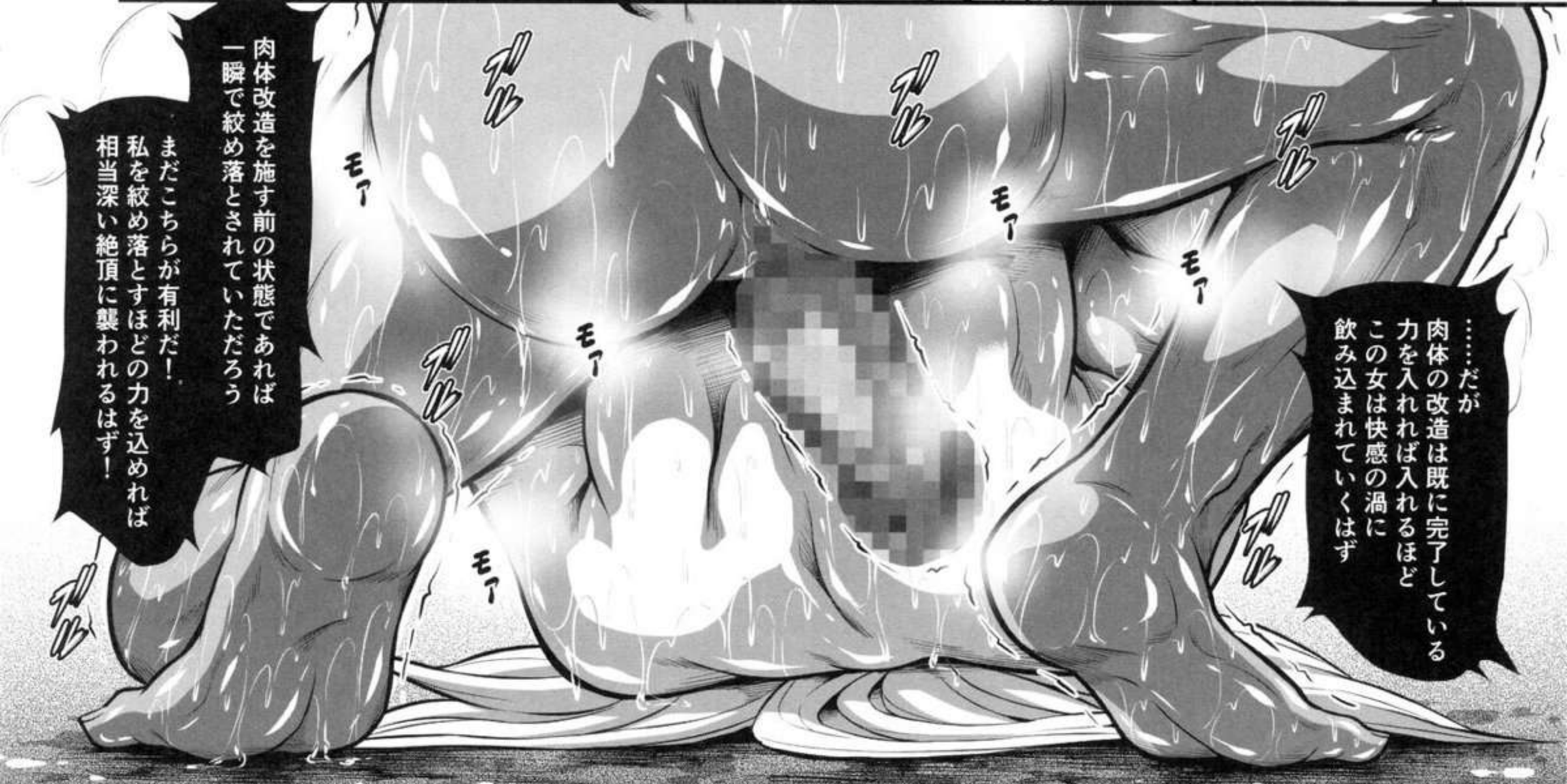
この女……
私の調教を全て受け入れ
極限の快楽に脳を
焼かれながらも唯一の
勝機を待ったというのか

対人戦闘最強と呼ばれる
組織だけある
ギルドナイトとは
これ程のモノか！



……だが
肉体の改造は既に完了している
力を入れれば入れるほど
この女は快感の渦に
飲み込まれていくはず

肉体改造を施す前の状態であれば
一瞬で絞め落とされていたろう
まだこちらが有利だ！
私を絞め落とすほどの力を込めれば
相当深い絶頂に襲われるはず！



快楽に屈して力を抜いた瞬間
今度こそお前は終わりだ!!

絞めれば絞めるほど
快感が増していく……

今すぐ力を抜いて
この女に屈してしまいたい……
肉便器として生きていきたい……
そんな考えが心を支配していく

それでもこの肉体は
命がけの過酷な訓練に
耐え抜いてきた
このギルドナイトの肉体は

敵を倒せと躍動する

私の心身が全て
快楽の奴隷に堕ちる前に

この女を絞め落とす!!



TO BE CONTINUED

ソロハンターの生態 WORLD 10



発行 YokohamaJunky

発行者 魔狩十織

発行日 2023.12.31

印刷 ねこのしっぽ

web <http://yokohamajunky.com/>

email mail@yokohamajunky.com

※この物語はフィクションであり、実在の人物団体及び各種設定も一切関係ありません
尚、18歳未満の閲覧、購読は禁止です